

# 令和3年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業報告

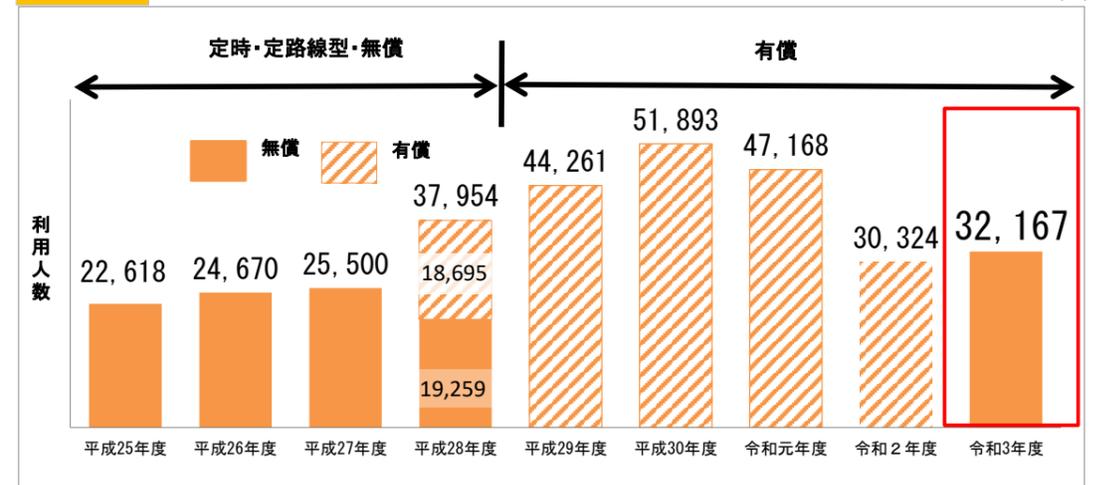
資料2

## 令和3年度取組事業

※例年実施している、広陵元気塾との政策関連、[いのちを守るイベント]での周知活動については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

①事業の概要	②事業の結果	③事業の今後の改善点・方針
<p>●広陵元気号南部支線の再編 「近鉄高田駅への接続改善」「買い物目的利用者における利便性維持・確保」を図るため、既存ルート及びダイヤのベースは崩さないかたちで、令和3年10月1日から、南部支線の再編を実施した。 再編に当たっては、活性化協議会での協議に加え、沿線地域への説明及び意見交換を行い、利用者ニーズに適合したダイヤ及びルートの設定を行った。</p>	<p>【再編概要】 ・大和高田駅への接続便を3便増便 ・百済地域から国保中央病院への往復便（中央幹線乗継）の確保 ※再編に伴い広報、ホームページ、Facebook、元気号車内での周知を実施。 ※10月号広報には無料乗車券を添付（1,279枚回収） 【実績】 南部支線利用者 令和2年10月1日～令和3年3月31日:4,343人 →令和3年10月1日から令和4年3月31日:4,622人（297人増加）</p>	<p>広陵町地域公共交通計画に基づく地域公共交通ネットワークの構築に向け、住民ニーズを把握し適切な公共交通サービスのあり方を検討する。</p>
<p>●広陵町地域公共交通計画策定 既存の公共交通の維持・確保に加え、新たに病院の送迎バス及び自家用有償運送などの多様な移動手段との連携を図り、めざすべき将来像である「～笑顔で出かけられるまち～」の実現のため、本町の公共交通施策のマスタープランとなる「広陵町地域公共交通計画」を策定した。</p>	<p>【実施内容】 計画策定に向け下記を実施した ・住民アンケート調査の実施（配付数2,000票、回収率46%） ・既往計画（広陵町地域公共交通網形成計画）の最終評価・検証 ・パブリックコメントの実施（意見提出：2件）</p>	<p>今年度以降は、広陵町地域公共交通計画に基づく地域公共交通ネットワークの構築及び当計画に定める実施事業を展開する。</p>
<p>●国保中央病院無料送迎バス実証運行の実施 令和2年度に策定した「広陵元気号及びシャトルバス運行再編計画」に基づき、令和3年10月1日から、従来の田原本町（田原本駅）を含む、川西町、三宅町及び広陵町において広域運行（実証運行）を実施。 新設バス停及びダイヤについては、住民及び利用者アンケート調査に基づき、3町各1箇所のバス停において往復便を確保した。</p>	<p>【実施内容】 広域運行（川西町、三宅町及び広陵町）について、病院の診療受付時間内に病院に到着する便、受診後に乗車できる便を1便ずつ確保した。 【実証運行期間】 令和3年10月1日～令和4年6月30日 【利用実績（令和3年10月1日～令和4年3月31日）】 3町合計164人（病院行き110人、各町行き54人） 広陵町（病院行き30人、広陵町行き17人、1便当たり約0.2人利用）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、設定した目標値を達成できなかった。 実証運行期間終了後は広域運行を廃止し、今後の病院へのアクセス向上について国保中央病院を含む構成4町で引き続き検討を行う。 ⇒詳細は「参考資料2-3」のとおり</p>
<p>●「広陵元気号」標語募集の実施 「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝えるとともに、その保護者にも広陵元気号の周知を行った。 【実施内容】 町内小学校5校在学の児童（6年生 ※広陵北小学校のみ5年生）から、「広陵元気号」の標語を募集</p>	<p>【応募標語数】 5校合計：337標語（対象児童の97%が提出） 各小学校で最優秀標語1点を選定した。 最優秀標語は、バスの乗り方教室参加記念品（ものさし）に印字した。</p>	<p>引き続き、「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝え、認知度向上や利用促進を図っていく。また、標語の提出100%を目指す。</p>
<p>●広陵元気号利用ポイント制度の実施 町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。 【実施内容】 「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードの配布（平成29年11月から継続中） ※現在の協賛店舗は「イズミヤ広陵店」「エコー・マミ」「エバグリーン広陵店」「コープなんごう」の4店舗</p>	<p>【ポイントカード回収枚数】 イズミヤ：198枚 エコー・マミ：275枚 エバグリーン：170枚 コープなんごう：0枚 合計：643枚</p>	<p>令和3年度については前年度に比べ元気号利用者は増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大による移動規制などによりポイントカードの回収枚数が前年度比で1割程度減少した。 今後もモビリティマネジメントの観点から協賛店舗を増やし、無関心層や既存利用者の更なる利用促進や利用満足度の向上を図る。</p>
<p>●町広報等を活用した乗車促進 ・無料乗車券（2回分、使用期限令和3年12月30日）の配布 広陵元気号の更なる利便性向上を目指し、令和3年10月1日から南部支線の路線及びルートの再編に伴い、広陵元気号の周知及び利用者の声について特集記事を掲載。広陵元気号の再編及び国保中央病院無料送迎バスの広域運行の周知に併せて利用促進のため無料乗車券を広報に添付した。 広報掲載の他、町公式ホームページ、Facebook及びLINEで公共交通の情報を定期的に発信した。</p>	<p>【無料券回収枚数】 1,279枚（令和3年10月1日～令和3年12月30日） 一定数の利用増加につながった。</p>	<p>今後も引き続き、地域公共交通の利用促進のため、様々な媒体での効果的な周知を続ける。</p>
<p>●バスの乗り方教室の実施 小学6年生（広陵町北小学校のみ5年生）を対象に公共交通機関の一つであるバスについての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を図る。</p>	<p>【実施内容】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、クラス単位で実施するなど工夫した上で、例年実施しているバスの基礎知識、乗車方法、交通安全に関するバスの乗り方教室を実施した。</p>	<p>小学生に対して、状況に応じた周知・利用促進を実施する。</p>

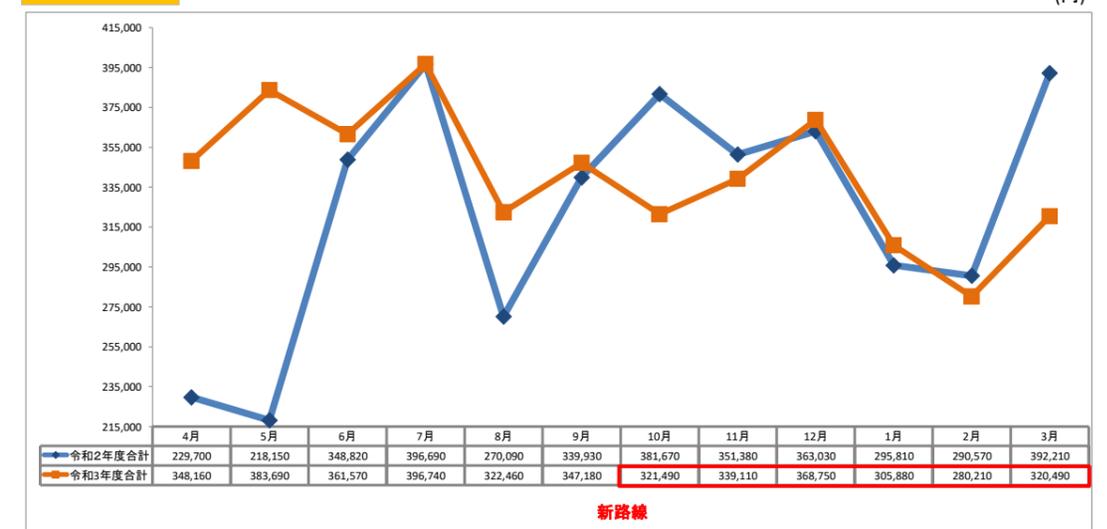
## 利用者推移



## 月別利用者数比較表(3路線合計)



## 月別収入比較表



※R2.4.16～R2.5.14 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言 発令